

令和3年度第1回和光市文化財保護委員会会議要録

議題1について

委員名	意見の概要
1 田中委員長	意見なし。
2 矢崎委員	意見なし。
3 小田部委員	意見なし。
4 森委員	意見なし。
5 鈴木副委員長	意見なし。
6 内田委員	意見なし。
7 並木委員	意見なし。
8 大平委員	意見なし。
9 保科委員	意見なし。
10 岩田委員	埋蔵文化財調査報告書の印刷製本部数は、300部が過去の通例だが、最近では電子データ（PDF）による納品が求められたり、オンデマンド印刷により必要部数を1冊単位で発注が可能な時代になってきている。製本ではなくCD-Rによる配布にすれば受けとる側も、整理格納に場所をとらなくてすむ。次年度では、どうしても必要なものは製本とし、その他はCD-R配布とすれば大幅なコスト削減が可能となる。配布先別に製本かCD-Rかを分類してはどうか。

事務局からの回答

岩田委員：ご意見いただきありがとうございます。発掘調査記録保存としての役割から、文化庁からも印刷製本が推奨されています。広く公開するという面から和光市デジタルミュージアムにて電子データ（PDF）による公開を進めてまいります。

議題 2 について

委員名	意見の概要
1 田中委員長	意見なし。
2 矢崎委員	文化財パトロールについて。例年随時実施との報告と実施予定が計画されているが、市の指定を受けていない文化財が市内には多数存在していると思われる。これらの貴重な品や文化的遺産が急速な都市化や世代交代により消失したり売却、紛失せぬように調査し、指定していく必要があると思う。今年度はぜひこれらの計画立案と今後の実施について検討してほしい。
3 小田部委員	意見なし。
4 森委員	意見なし。
5 鈴木副委員長	意見なし。
6 内田委員	意見なし。
7 並木委員	意見なし。
8 大平委員	意見なし。
9 保科委員	意見なし。
10 岩田委員	富士塚調査について。本年度が文献調査の予定となっているので、自分で集めた文献のコピーを参考に提出する。

事務局からの回答

矢崎委員：ご意見いただきありがとうございます。文化財パトロールは、遺跡の包蔵地内で未届で工事をしていないか、または市指定文化財が破損・紛失していないかを確認することを目的としています。ご意見でいただきました、市指定となっていない文化財についても、今後目的の一つとしたいと思います。

また、市指定文化財を目指す際には、文化財保護委員会で諮問を行いますので、よろしくお願いいたします。

岩田委員：文献のコピーをご提供いただきありがとうございます。調査の参考にさせていただきます。

議題 3 について

委員名	意見の概要
1 田中委員長	意見なし。
2 矢崎委員	午王山遺跡が国の史跡の指定を受け大変すばらしい事と感激している。令和3年度に保存活用計画が策定されることを大変期待している。今年度は市民に講座を開催する計画だが、一層広く市民に知ってもらうために、例えば、広報誌に連載記事のコーナーを作る、市庁舎内あるいは市民ホール通路等に発掘品の展示紹介コーナーを作って広く紹介する等さらなる広報活動ができたらと考える。コロナ大流行中だが、市民ボランティアの活用等工夫して実施できないか。
3 小田部委員	「発掘された日本列島 2021」の和光市の紹介文「環濠が行き交う人々受け入れて」には感心した。まさに和光市の歴史と文化（我がまちの誇り）を言い表している。駅北側は、開発が遅れ、利便性がないとのマイナス面をよく耳にするが、北側こそ和光市の歴史と文化、和光市の誇りの地域で、縄文時代の貝塚により、既に人々、物が行き交う地域だった。朝鮮半島との国際交流には、胸躍ります。近世には、白子宿あり、富士塚あり、そして今は交通網の要、物流の要であり、少し前には道路村長がいました。「活用計画」と共に、国指定のチャンスとし、教育委員会の文化財保護の中に収めずに「午王山遺跡」の意味していることを行政の理念の柱としてほしい。行政・市民への積極的な発言を期待している。
4 森委員	意見なし。
5 鈴木副委員長	意見なし。
6 内田委員	意見なし。
7 並木委員	意見なし。
8 大平委員	指定範囲の追加を願っている。市民に広く認知され、郷土の誇りとして市民に愛される文化遺跡となるよう希望する。
9 保科委員	意見なし。
10 岩田委員	意見なし。

議題 3 について

事務局からの回答

矢崎委員：ご意見いただきありがとうございます。

『広報わこう』では、「歴史と民俗をたずねて」という不定期の記事枠があるので、午王山遺跡を知っていただくツールとしても活用してまいります。

また、午王山遺跡出土品の一部は4階エレベーター前や和光市図書館下新倉分館等で一部展示しているところですが、今後のご提案を参考に、さらなる周知ができるよう工夫してまいります。

小田部委員：ご意見いただきありがとうございます。

現在策定中の「午王山遺跡保存活用計画」は、策定委員会に市の関係部署の主管課長が含まれており、行政内部の横の連携を意識した計画策定を目指しております。また、同計画は和光市の他の関連計画とも相互に整合できるような位置づける方向で検討されているところです。委員のご期待に応えられるよう、今後も様々な機会を捉えて市民をはじめ行政内部においても国指定史跡の午王山遺跡が持つ意義が共有できるよう、積極的な働きかけを行ってまいります。

大平委員：ご意見いただきありがとうございます。

午王山遺跡の指定地を追加指定し、その範囲を広げることについては土地所有者と協議をしながら積極的に働きかけていきたいと考えております。そして、市民の皆様に愛着を持っていただけるような史跡整備を目指してまいります。

その他

委員名	意見の概要
1 田中委員長	文化財に関し、史跡を含め多くの形で残されている。大切に慎重に扱い、協議し、保護、保存をしまいましょう。
2 矢崎委員	意見なし。
3 小田部委員	意見なし。
4 森委員	<p>①公園名板に遺跡情報を入れられないということだが、別に公園内に遺跡情報に関する看板を立てることは可能か。</p> <p>②午王山遺跡に関する情報が全国的に知られることは、市民にとって大変好ましいことである。これをきっかけに考古学研究がなお一層進展することを大いに期待している。</p>
5 鈴木副委員長	古銭と越後山遺跡出土の縄文土器の市指定の件を具体的に進めてほしい。
6 内田委員	意見なし。
7 並木委員	公園名板について。公園みどり課より難しいとの回答だが、これで終わりとせず、どの様にどの様な形ならば可能となるのか、検討・調整を進めていただきたい。
8 大平委員	意見なし。
9 保科委員	公園名板について。公園名板を立てられない理由は何なのか。公園に集う地域住民への普及という点で大切ではないか。
10 岩田委員	意見なし。

その他

事務局からの回答

鈴木副委員長：ご意見いただきありがとうございます。古銭については、市指定文化財の検討をするための基礎資料調査を進めてまいります。越後山遺跡第2次調査7号住居跡出土のダイズ属の種子圧痕が確認された縄文土器については、市指定文化財とするため、文化財保護委員会で諮問を行う予定です。

森委員、並木委員、保科委員：ご意見いただきありがとうございます。公園名板について回答いたします。公園みどり課に相談したところ、公園名板は本来、公園の使用について明記するものなので、遺跡について記載するものではないが、事業主に相談し、別に看板を設置することは可能である。ただし、看板に係る費用や管理は文化財保護担当で負担となるという回答をいただきました。令和3年度の予算では対応できないことや、今後も管理費用がかかる等をふまえ、総合的に検討した結果、今回は看板の設置を見送るという判断をせざるを得ませんでした。委員のご指摘のとおり、文化財の保護には普及・啓発活動は重要であると考えておりますので、今後もできる限り文化財の普及・啓発活動に努めてまいります。

～小田部委員からのご挨拶～

長い間、文化財保護委員会委員をさせて頂き、ありがとうございました。委員となつてすぐに鎌倉の大イチョウが倒れ、日本中大騒ぎとなりました。急遽長照寺の大イチョウの樹木調査が行われ、その結果に基づき、剪定・養生・土壌改良が行われたことは一番印象に残っております。紀要第5号に『長照寺の「大いちょう」と和光市の木「イチョウ」について』を掲載させて頂き、委員の仕事を果たせたかなという気がしております。最後に委員時代に「午王山遺跡」の国指定が決まったことは、何よりも喜びです。長い間お世話になりました。ありがとうございました。

令和3年6月30日をもちまして、6期12年にわたり文化財保護委員をお勤めいただいた小田部委員がご勇退されました。樹木医としての専門知識と経験を存分に発揮いただき、特に和光市指定文化財の「大いちょう」の保護にご尽力いただき感謝申し上げます。委員をご勇退された後も、引き続き和光市の文化財保護行政をお見守りいただければうれしく存じます。

生涯学習課長 茂呂あかね